

平成30年度筑西市教育委員会 第15回筑西市学校の在り方検討委員会

- | | |
|-------------|--|
| 1. 招集日時 | 平成30年12月17日(月) 午後7時00分～午後8時00分 |
| 2. 場 所 | 筑西市下中山732番地1 下館武道館3階会議室F |
| 3. 出席委員 | 23名 |
| 4. 欠席委員 | 13名 |
| 5. 委員以外の出席者 | 14名 |
| 6. 次 第 | <ol style="list-style-type: none">1. 開会2. あいさつ3. 議事<ul style="list-style-type: none">報告事項 (1) 明野地区における義務教育学校開設に向けた検討状況について審議事項 (1) 明野地区における義務教育学校の開設について(2) 義務教育学校・明野地区準備委員会の設置について4. その他5. 閉会 |
| 7. 議事の概要 | <p>委員 長 : 報告事項(1)「明野地区における義務教育学校開設に向けた検討状況について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>事 務 局 : 「明野地区における義務教育学校開設に向けた検討状況について」資料により説明。</p> <p>委員 長 : ありがとうございます。明野地区は、「学校の在り方」明野地区協議会を組織して検討を進めていただきましたが、その協議会を取りまとめいただいた〇〇委員からもご意見をいただきたいと思います。</p> <p>〇〇委員いかがでしょうか。</p> <p>委 員 : 皆様のご協力のもと、来年より明野地区準備委員会を設立する運びとなりました。未来の子どもたちのためにより良い教育環境を作っていけたらと考えております。今後も皆様のお力添えをいただければ幸い</p> |

でございます。

委員長：ありがとうございます。委員の皆様にはこれまで、多大なるご尽力をいただきました。義務教育学校の開設は筑西市として初の試みとなります。今後も皆様には、ご協力いただければと思います。

では、委員の皆様でご意見のある方いらっしゃいますか。

委員：9月27日に行われた明野地区の説明会についてですが、出席者が36名というのは少ないように感じますが、いかがでしょうか。

委員：明野中学校区の学校の在り方について、より詳しく聞きたい方や各団体の代表者の方が来られた印象でございます。

委員長：ありがとうございました。〇〇委員、何かご意見いただけますでしょうか。

委員：明野地区の義務教育学校の開設は、今後の筑西市の学校教育のあり方のモデルとなると思います。これからの学校教育においては、地域に残り、地域を担っていく人材を育成することが課題となってくると思います。そのために、学校教育のカリキュラムの在り方を検討していく必要があると考えます。

委員長：ありがとうございました。続きまして、審議事項（1）「明野地区における義務教育学校の開設について」事務局から説明をお願いします。

事務局：「明野地区における義務教育学校の開設について」資料により説明。

委員長：ありがとうございました。委員の皆様でご意見・ご質問のある方いらっしゃいますか。

各委員：《意見等なし》

委員長：続きまして、審議事項（2）「義務教育学校・明野地区準備委員会の設置について」事務局から説明をお願いします。

事務局：「義務教育学校・明野地区準備委員会の設置について」資料により説明。

委員長：ありがとうございました。委員の皆様でご意見・ご質問のある方いらっしゃいますか。

委員：準備委員会委員の5年間という委嘱期間が重荷になってしまうように感じましたが、いかがでしょうか。

事務局：準備委員会委員の中にPTAの方を2名ずつ選定させていただこうとしている背景には、5年後も小学校に在籍する保護者の方をお願いすることによって、スクールバスなど、より当事者の意見が必要となってくる検討事項についてご意見をいただきたいといった理由があります。

もちろん、義務教育学校開校までご協力いただければ幸いです。やむを得ず辞職される場合も事務局がフォローしながら、次の方に課題の引継ぎを行っていきたくて考えております。

委員長：ありがとうございました。それでは、審議事項（１）、（２）について事務局案のとおり進めていくということよろしいでしょうか。

各委員：《賛成》

委員長：ありがとうございました。委員の皆様でご意見・ご質問のある方いらっしゃいますか。

委員：明野中学校区以外の義務教育学校・小中一貫教育について、今後どのようになっていくのでしょうか。

事務局：義務教育学校・小中一貫教育を進めていくに当たり、地元の合意形成を得ることが如何に困難かを感じました。他の地区においても、地域差もあることと思いますし、その地区において、義務教育学校・小中一貫教育を求めているのか否かを見図りつつ、在り方検討委員会でもご相談しつつ進めていくべき課題と考えております。また、北中学校区についてですが然るべき時期に、然るべき方法で進めていけるよう検討しております。地域の合意形成を得た上で北中学校区においても進めていければと考えております。

委員長：ありがとうございました。ここでアドバイザーである〇〇先生に、ご意見をいただきたいと思えます。

アドバイザー：現在の日本の6・3・3・4制というのは戦後の制度となりまして、それ以前は別の学制を持っておりました。この6・3・3・4制はアメリカの学制をそのまま採用しております。現在のアメリカにおいては、小学校に幼稚園が付属しており、幼稚園から12年を一貫して考えております。このように世界各国様々な在り方がございますので、時代の変化、子どもたちの発達によって変化していくものだと思います。そういった意味で、義務教育学校というのは大きなチャレンジになると思えますし、日本の将来を見据えた第一歩ということを考えれば、大きな意味があると思えます。もちろん、不安な点もあると思えますが先行事例を参考に課題を解消し、良い所を取り入れていくことで、明野地区において新しい試みが実践できるのではないかと考えます。私も今後情報収集しつつ、皆様と学んでいけたらと思えます。

委員：今回で、15回目の学校の在り方検討委員会となりますが、明野地区においてここまで進行してきたということは、大変喜ばしいことと思えます。私は、第1回目から出席しておりまして、スピード感を持って進めていただきたいと申し上げました。いずれにしましても、地域と密着を図り、どこの地区においても、すぐに進めていけるような基盤を構築することが必要だと思えます。

委員長：ありがとうございました。明野地区だけでなく他の地区においてもスピード感を持って進めていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。以上で議長の職を解かせていただきます。
ありがとうございました。

以上 閉会午後8時00分